

墨田区議会

# 自由民主党会派報

発行  
墨田区議会自由民主党  
墨田区吾妻橋1-23-20  
発行責任者 中村光雄  
編集責任者 出羽邦夫

区議会ホームページ  
<http://www.city.sumida.tokyo.jp/kugikai/>

## 第三回定例会・17年度 決算委員会を通じ、墨田区 の進展に努めました



庁舎屋上より「すみだタワー」建設予定地を望む

### 管外行政調査

各常任委員会は、年に一回、先進施策都市の視察を行っており、墨田区で抱えている問題、これから取り組む施策などの研究のため、各地自治体に調査依頼をし、訪問させていただいております。  
ちなみに、我が墨田区には、各地自治体から年間二十件の視察依頼があり、主な調査項目は、「雨水利用」や「中小企業対策」などです。

今回、各委員会が行った管外行政調査は次のとおりです。

#### ◆企画総務委員会

(10月2日～4日)

- ▼愛知県高浜市  
構造改革の推進施策について
- ▼岐阜県大垣市  
情報化推進施策について

#### ◆地域都市委員会

(10月3日～5日)

- ▼北海道富良野市  
リサイクルの推進施策について
- ▼北海道札幌市  
まちづくりの施策について

#### ◆区民文教委員会

(10月3日～5日)

- ▼大阪府枚方市  
学校教育施策について
- ▼大阪府堺市  
収納率向上対策について

#### ◆福祉保健委員会

(10月3日～5日)

- ▼愛知県春日井市  
子育て支援施策について
- ▼愛知県豊田市  
高齢者福祉施策について





# 平成17年度決算特別委員会

（10月17日～31日）

委員長 坂下 修  
委員 早川幸一、西原文隆、中村光雄、小池武二、  
出羽邦夫、中嶋常夫、桜井浩之

## 墨田区議会自由民主党・桜井浩之委員

### 17年度決算に対する意見を開陳(概要)

墨田区議会自由民主党を代表し、平成十七年度墨田区一般会計決算、国民健康保険特別会計決算、老人保健医療特別会計決算、介護保険特別会計決算案四件に対し、認定をする立場で意見を述べさせていただきます。

十七年度決算は黒字決算、そして、平成十五年度を境にして二年連続特別区税の増収、並びに公債比率の減少とこのことでしたが、「いざなぎ景気」を上回る好景気といわれている中で、依然として墨田区内にその実感が表れていない。区債残高においても約四百億円弱。経常収支比率も区独自の区民サービスの飛躍的拡充は難しい状況にあります。また、財政圧迫による不安要素としては、平成十九年度実施の税フラット化による税収の影響、二〇〇七年問題、そして生活扶助、高齢者医療、介護保険関係等の費用の増大などが懸念され、予算を許さない状況であります。今後のさらなる行財政改革の実施、また、すみだタワー周辺整備並びに観光施設、北斎館建設、錦糸総合体育館建設等を見越した基金の充実が不可欠であり、区財政運営については、引き続き緊張して取り組んでいただきたい。

歳入においては、国民健康保険料の徴収をはじめ各滞納額の回収実績を上げるための横断的な仕組みを検討された。また、都区財調については、主要五課題の早期解決と調整率五・六％以上の確保に向けて不転換の決意で望んでいただきたい。

歳出においては、さらなる職員定数の削減、清掃職員を含む特殊勤務手当ての見直し



田中邦友議長（左）・坂下 修委員長（右）

を図り、また、公的施設の指定管理者制度の導入及び区立保育園の民営化、区立保育園給食調理業務の民営化を引き続き実施し、人件費のさらなる圧縮とサービスの向上に努められた。

行財政改革は、区民の視点に立ち区民が納得のいく行政説明を行うと共に、計画を前倒しできるものは早期実施を望む。

主要事業である新防災対策は、区民の防災意識の向上が重要で、安全チェックシート、家具転倒防止事業の活用を更に呼びかけると共に、総合防災訓練、防災拠点会議の充実、また、消防署、消防団、弱者サポート隊との連携を強化し、災害時の弱者救済体制の確立を行うべき。また、壊れない街づくりを目指すためにも、耐震改修を促進する新たな施策を講じる必要があると考える。

子育て支援については、保育園待機解消を図るための新たな保育園の設置、幼稚園における幼保一元化としての機能の拡充を求め、また、在宅保育児との公平性を担保するために特別保育の早期拡充、そして、設置予定の子育て総合センターを核として、子育て相談センター並びに児童館を含む子育て相談窓口を充実し、子育てサポート体制の強化を望む。乳幼児医療助成については助成対象を中学生まで早期に拡充すべきである。

学力向上対策については、学力向上プランの実施結果に基づき、適切に学校や生徒児童に指導できるかが重要。三年間を通じて一定の成果が見えてくるもの、その中でも学校の学力格差が表面化している。更なる基礎学力の定着向上を図ると共に、学校間の学力格差の解消に努められた。また、現在の学校に対する外部評価については不十分と考える。開かれた学校を目指すために、学校全体の情報公開を積極的に行うことが真の学校評価につながるかと考える。また、家庭における教育が重要視



を望む。

されていることから、保護者への指導も積極的に行うことを望む。

観光まちづくりについては、今後の行政施策の大きな目玉となる「すみだタワー」は、墨田区だけでなく周辺区、東京全体への波及効果もあると考えられる。従って、すみだタワー周辺整備についてはグラントデザインが示されたが、今後の基本計画については、国、東京都、東武鉄道側としっかり連携、情報交換をしながら策定を図りたい。また、東武鉄道側とは、大踏切の解消を引き続き強く要望すべきと考える。

「北斎館」建設については、総合的に北斎通りに面することが望ましい。観光客の回遊性も重視すべきであり、緑町公園への建設も視野に入れることが考えられる。施設計画については、観光主体ではなく、葛飾北斎を「郷土の誇り」と認識し、区民への教育的視点から施設規模、内容等を検討し、建設コスト、ランニングコストを含めた、区の財政規模に無理がない施設計画と地域が一体となったまちづくりを望みたい。また、北斎館の運営については、小布施と津和野との連携も行うべきだと考える。更に、墨田区内への観光客出入り口となる主要駅については、駅のバリアフリー化が求められる。鉄道事業者と協議し、積極的な協力を求めることが必要と考える。

介護保険特別会計については、平成十八年に自立支援法が施行され、その不満の多くは、新たな認定結果による介護サービスの低下に集中している。とりわけ障害者や弱者が利用していたベッドである。過日、東京都がその助成制度を実施したことと要望する。また、引き続きケアマネージャーの育成、指導及び適正な認定と、認定に係る時間の短縮について更に努めていただきたい。いずれにしても、三特別会計は国の方針で大きく左右されるものであり、必要があれば、国や都へ積極的に働きかけていくべきだと考える。

最後に、現在、日本は格差社会といわれていますが、それゆえに弱者救済は行政の義務である。福祉施策には、更なる公平公正が担保されなければならない。モラル低下が著しい現代に、真の弱者への福祉が行き届くよう墨田区の行政に期待する。

以上、平成十七年度各会計決算に対する会派としての主な意見要望を述べましたが、今審査における我が会派委員の意見をより簡潔に新基本計画、平成十九年度予算編成も含めて、今後の墨田区政運営に反映されることを強く要望するものである。



会派を代表し意見を述べる桜井浩之委員

我が会派の主導でまとめた意見書

障害者自立支援制度に関する意見書

障害者の自立を支援する観点から、障害の種別に係らず、福祉サービスを共通の制度の下で一元的に供給する障害者自立支援法が本年四月に一部施行、十月からは障害者の地域生活を支援するための移動支援事業や日常生活用具給付事業等の地域生活支援事業が実施となり、本格施行されます。

衆議院及び参議院では、障害者自立支援法の成立に際し、サービスを必要とする全ての障害者が、適切に利用できるための各種措置についての付帯決議がなされています。しかし、福祉サービス等にかかる費用の原則一割負担は、比較的所得の低い者が多い障害者にとって、激甚緩和措置としての軽減措置はあるものの大きな負担となっています。また、施設運用にあたっては、施設報酬の算定が「月払い方式」から「日払い方式」に変更され、報酬額が抑制されたこと等に伴い、今後の運営に対する不安が増えています。

よって、墨田区議会は政府に対し、障害者が必要とするサービスを受けることができるよう、ガイドヘルプや介護を伴う外出支援などの移動支援事業、並びに日常生活用具給付事業等の各種事業の負担軽減措置を実施するための十分な財政措置を講じると共に、国会で付帯決議された措置を速やかに実施するよう強く要望いたします。以上、地方自治法第九九条の規定に基づき、意見書を提出します。

平成十八年九月

内閣総理大臣・厚生労働大臣 宛

墨田区議会議長

この総務大臣表彰は、区議会議員を三十五年以上務めた方に贈られるもので、このたび早川、瀧澤両議員がその栄に浴されました。



中村光雄幹事長を囲んで、喜びの早川・瀧澤両議員

## 総務大臣表彰 早川幸一、瀧澤良仁 両議員に贈られる



# 第3回定例会での質問概要

平成18年9月12日～29日

## 代表質問



出羽 邦夫

### ●墨田区基本計画について

①行政側の「すみだ」らしさへの認識は  
墨田区基本計画の策定、実施にあたっては、住民の目線、共にまちづくりをしていこうという、墨田区好きの職員が必要であると思うが、区長は職員に対してどのような訓辞をされ、また、期待をもっているか。

②「すみだ」らしさを伸ばす施策は  
墨田区では防災対策に力をいれ、不燃化助成や雨水利用への助成など、すみだらしい施策を行ってきたが、これからも、他の自治体で好評であるからと安易に導入することなく、すみだらしさを伸ばす施策を行っていただきたいが区長の見解は。

③「すみだ」らしさを伸ばす施策は  
本区の地域特性を最も表しているものは、江戸下町庶民文化発祥の地、首都東京を支えるものづくりのまち、人情味あふれたコミュニティがいびきづくま、この三つだと考える。これらを中心に、すみだらしさを更に伸ばす施策を積極的に展開することにより、住んでよく、働いてよく、一度は訪れてみたい魅力にあふれたまちづくりを推進していく。

### ●すみだタワー(仮称)について

①すみだタワーの事業主体は  
事業主体はどのような構成で、その権限、事業内容は、そして墨田区のかかりと発言力、出資額はどのくらいになるのか。協議の進捗状況を知らたい。

②テレビのデジタル化への対応は  
現在のアナログテレビ放送は、平成二十三年をもって終了し地上波デジタル放送に移行するが、この放送を受信するには、チューナーとアンテナが必要になる。また、さくらケーブルテレビを利用している人はどうすれば見ることができ、また、一般契約者と電波障害対策地域における受信者についてはどう対応するのか。

③視聴者の対応としては、地上デジタル放送対応テレビへの買い替え、現在使っているテレビにデジタルチューナーを接続する、ケーブルテレビに加入する、という三つの方法が示されている。多くの家庭で対応が行われるものと想定している。ケーブルテレビを利用している場合は、アナログ契約の視聴者は原則的にデジタル契約に変更し、デジタルチューナーを接続する必要がある。また、電波障害対策地域でケーブルテレビを利用している場合は、先ほどの三つの方法のいずれかを選ぶ必要がある。区としては、必要に応じて情報提供に努めていきたい。

④障害者自立支援法に基づく地域生活支援について  
本年十月から、地域生活支援事業が実施されるが、墨田区としてはどのような事業を行っていくのか。また、この事業の福祉サービスを安定的・継続的に提供するためには、利用者負担に過ぎない事業を除き一定の負担を課すことは理解できるが、所得の低い方への配慮は必要だ。我が会派としては何らかの軽減措置を講じるべきだと考えるが、区長の見解を伺う。

⑤軽減措置はどのようになるか  
本年十月から、地域生活支援事業が実施されるが、墨田区としてはどのような事業を行っていくのか。また、この事業の福祉サービスを安定的・継続的に提供するためには、利用者負担に過ぎない事業を除き一定の負担を課すことは理解できるが、所得の低い方への配慮は必要だ。我が会派としては何らかの軽減措置を講じるべきだと考えるが、区長の見解を伺う。

### ●京成曳舟駅高架事業に伴う早期解決策について

①京成曳舟駅高架事業に伴う早期解決策について  
本事業の早期完成を目指すには、区側が東西ビュートハイツ地区の構想立案を深く検討し、建築制限の緩和に考慮するなど、区分所有者の生活環境と保全対策等を早急に関係機関に強力に要請を行うことが必要だと思ふが、区長の見解を伺う。

②京成曳舟駅高架事業に伴う早期解決策について  
本事業の早期完成を目指すには、区側が東西ビュートハイツ地区の構想立案を深く検討し、建築制限の緩和に考慮するなど、区分所有者の生活環境と保全対策等を早急に関係機関に強力に要請を行うことが必要だと思ふが、区長の見解を伺う。

③京成曳舟駅高架事業に伴う早期解決策について  
本事業の早期完成を目指すには、区側が東西ビュートハイツ地区の構想立案を深く検討し、建築制限の緩和に考慮するなど、区分所有者の生活環境と保全対策等を早急に関係機関に強力に要請を行うことが必要だと思ふが、区長の見解を伺う。

④京成曳舟駅高架事業に伴う早期解決策について  
本事業の早期完成を目指すには、区側が東西ビュートハイツ地区の構想立案を深く検討し、建築制限の緩和に考慮するなど、区分所有者の生活環境と保全対策等を早急に関係機関に強力に要請を行うことが必要だと思ふが、区長の見解を伺う。

⑤京成曳舟駅高架事業に伴う早期解決策について  
本事業の早期完成を目指すには、区側が東西ビュートハイツ地区の構想立案を深く検討し、建築制限の緩和に考慮するなど、区分所有者の生活環境と保全対策等を早急に関係機関に強力に要請を行うことが必要だと思ふが、区長の見解を伺う。



沖山 仁

## 一般質問

### ●都区協議会の合意に基づき都区のあり方検討会が設置されたこと聞くが、

①都区協議会の合意に基づき都区のあり方検討会が設置されたこと聞くが、今後の最大の課題は都区の事務配分だが、事務の切り離しや再編を含めた特別区のあり方、税財政制度のあり方など、主要五課題の解決策がどのように示されるのか注意深く見守っていかなければならない。さらに、清掃工場の整備に関する財源の取扱い、小中学校改築経費に係る準備、改築規模等の改善、都市計画事業実績に見合った交付金総額や交付率の弾力化など問題が山積している。三位一体改革の影響に伴う平成十九年度以降の調整率についての見直しと、これら五課題に取り組む区長の決意を伺う。

②都区協議会の合意に基づき都区のあり方検討会が設置されたこと聞くが、今後の最大の課題は都区の事務配分だが、事務の切り離しや再編を含めた特別区のあり方、税財政制度のあり方など、主要五課題の解決策がどのように示されるのか注意深く見守っていかなければならない。さらに、清掃工場の整備に関する財源の取扱い、小中学校改築経費に係る準備、改築規模等の改善、都市計画事業実績に見合った交付金総額や交付率の弾力化など問題が山積している。三位一体改革の影響に伴う平成十九年度以降の調整率についての見直しと、これら五課題に取り組む区長の決意を伺う。

③都区協議会の合意に基づき都区のあり方検討会が設置されたこと聞くが、今後の最大の課題は都区の事務配分だが、事務の切り離しや再編を含めた特別区のあり方、税財政制度のあり方など、主要五課題の解決策がどのように示されるのか注意深く見守っていかなければならない。さらに、清掃工場の整備に関する財源の取扱い、小中学校改築経費に係る準備、改築規模等の改善、都市計画事業実績に見合った交付金総額や交付率の弾力化など問題が山積している。三位一体改革の影響に伴う平成十九年度以降の調整率についての見直しと、これら五課題に取り組む区長の決意を伺う。

④都区協議会の合意に基づき都区のあり方検討会が設置されたこと聞くが、今後の最大の課題は都区の事務配分だが、事務の切り離しや再編を含めた特別区のあり方、税財政制度のあり方など、主要五課題の解決策がどのように示されるのか注意深く見守っていかなければならない。さらに、清掃工場の整備に関する財源の取扱い、小中学校改築経費に係る準備、改築規模等の改善、都市計画事業実績に見合った交付金総額や交付率の弾力化など問題が山積している。三位一体改革の影響に伴う平成十九年度以降の調整率についての見直しと、これら五課題に取り組む区長の決意を伺う。

⑤都区協議会の合意に基づき都区のあり方検討会が設置されたこと聞くが、今後の最大の課題は都区の事務配分だが、事務の切り離しや再編を含めた特別区のあり方、税財政制度のあり方など、主要五課題の解決策がどのように示されるのか注意深く見守っていかなければならない。さらに、清掃工場の整備に関する財源の取扱い、小中学校改築経費に係る準備、改築規模等の改善、都市計画事業実績に見合った交付金総額や交付率の弾力化など問題が山積している。三位一体改革の影響に伴う平成十九年度以降の調整率についての見直しと、これら五課題に取り組む区長の決意を伺う。

### ●千歳市・旭川市(7月19日)21日

①千歳市・旭川市(7月19日)21日  
調査項目Ⅱ市内循環バス・観光施策  
「すみだタワー」の建設に伴い、墨田区においても導入が求められる区内循環バスの参考とするため、千歳市の市内循環バス「Bパス」の運営方法、経費、問題点を調査し、また旭川市では、日本一の集客を誇る「旭山動物園」の集客努力、発想の転換について意見交換をさせていただいた。

②千歳市・旭川市(7月19日)21日  
調査項目Ⅱ市内循環バス・観光施策  
「すみだタワー」の建設に伴い、墨田区においても導入が求められる区内循環バスの参考とするため、千歳市の市内循環バス「Bパス」の運営方法、経費、問題点を調査し、また旭川市では、日本一の集客を誇る「旭山動物園」の集客努力、発想の転換について意見交換をさせていただいた。

③千歳市・旭川市(7月19日)21日  
調査項目Ⅱ市内循環バス・観光施策  
「すみだタワー」の建設に伴い、墨田区においても導入が求められる区内循環バスの参考とするため、千歳市の市内循環バス「Bパス」の運営方法、経費、問題点を調査し、また旭川市では、日本一の集客を誇る「旭山動物園」の集客努力、発想の転換について意見交換をさせていただいた。

④千歳市・旭川市(7月19日)21日  
調査項目Ⅱ市内循環バス・観光施策  
「すみだタワー」の建設に伴い、墨田区においても導入が求められる区内循環バスの参考とするため、千歳市の市内循環バス「Bパス」の運営方法、経費、問題点を調査し、また旭川市では、日本一の集客を誇る「旭山動物園」の集客努力、発想の転換について意見交換をさせていただいた。

⑤千歳市・旭川市(7月19日)21日  
調査項目Ⅱ市内循環バス・観光施策  
「すみだタワー」の建設に伴い、墨田区においても導入が求められる区内循環バスの参考とするため、千歳市の市内循環バス「Bパス」の運営方法、経費、問題点を調査し、また旭川市では、日本一の集客を誇る「旭山動物園」の集客努力、発想の転換について意見交換をさせていただいた。



●板橋区(10月6日)

①板橋区(10月6日)  
調査項目Ⅱ荷さき駐車場対策  
本年6月より実施された改正道路交通法により、駐車違反の取り締まりが強化されました。  
墨田区においても、最重点地域、重点地域、重点路線が指定され、荷物の積み卸しに支障をきたしているところがあります。公共施設や民間駐車場の利用、共同配送などの方法で地域店舗の利便が計れるかについて調査しました。

②板橋区(10月6日)  
調査項目Ⅱ荷さき駐車場対策  
本年6月より実施された改正道路交通法により、駐車違反の取り締まりが強化されました。  
墨田区においても、最重点地域、重点地域、重点路線が指定され、荷物の積み卸しに支障をきたしているところがあります。公共施設や民間駐車場の利用、共同配送などの方法で地域店舗の利便が計れるかについて調査しました。



# 躍進!! 改革自民党

墨田区のあらゆる分野で活躍する我が会派議員

私たち議員団は、墨田区民の多種多様な要望に広くアンテナを張り、より良き「明日のすみだ」実現のため、一致団結して日々の活動に邁進しています。

皆様のご意見、ご要望は、お近くの自由民主党会派の議員にお寄せくださいますようお願い申し上げます。

西原文隆  
〒三六二二一九五七〇



- 企画総務委員会委員長
- 議会運営委員会委員
- 都市開発・交通対策特別委員会委員
- 墨田まちづくり公社評議員
- 墨田区社会福祉事業団評議員

瀧澤良仁  
〒三六一一四〇〇三



- 墨田区監査委員
- 企画総務委員会委員
- 都市開発・交通対策特別委員会委員
- 民生委員推薦会
- 都市計画審議会

早川幸一  
〒三六二二七〇〇八



- 行財政改革等特別委員会委員長
- 地域都市委員会委員
- 民生委員推薦会
- 都市計画審議会
- 墨田区文化振興財団評議員

坂下修  
〒三六二六二二五二四



- 区民文教委員会副委員長
- 災害対策特別委員会委員
- 墨田まちづくり公社評議員
- 墨田区社会福祉事業団評議員

中沢進  
〒三六一一〇七四〇



- 福祉保健委員会副委員長
- 行財政改革等特別委員会委員
- 障害者施策推進協議会
- 都市計画審議会

阿部幸男  
〒三六一七二二八四



- 区民文教委員会委員
- 情報化対策特別委員会委員
- 墨田まちづくり公社評議員
- 墨田区社会福祉事業団評議員

松野弘子  
〒三六一〇三八六三



- 都市開発・交通対策特別委員会委員長
- 地域都市委員会委員
- 都市計画審議会
- 墨田区文化振興財団評議員

中村光雄  
〒三六三二七八七〇



- 議会運営委員会委員長
- 区民文教委員会委員
- 都市開発・交通対策特別委員会委員
- 都市計画審議会
- 墨田まちづくり公社評議員
- 墨田区文化振興財団評議員

田中邦友  
〒三六一一六七〇一四



- 墨田区議会議長
- 福祉保健委員会委員
- 情報化対策特別委員会委員
- 墨田区土地開発公社理事
- 墨田まちづくり公社理事
- 墨田区文化振興財団理事
- 墨田社会福祉事業団理事

中嶋常夫  
〒三六二二七八九四



- 企画総務委員会委員
- 行財政改革等特別委員会委員
- 国民健康保険運営協議会
- 墨田まちづくり公社評議員

出羽邦夫  
〒三六一六五八三四



- 福祉保健委員会委員長
- 議会運営委員会委員
- 行財政改革等特別委員会委員
- 国民健康保険運営協議会
- 墨田区社会福祉事業団評議員

木内清  
〒三六二四八八三五



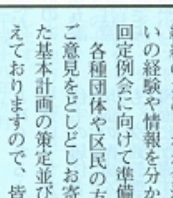
- 地域都市委員会委員長
- 災害対策特別委員会委員
- 議会運営委員会委員
- 廃棄物減量等推進審議会
- 環境審議会委員
- 墨田まちづくり公社評議員

小池武二  
〒三六一七三二一八四



- 墨田区基本計画調査特別委員会委員長
- 福祉保健委員会委員
- 情報化対策特別委員会委員
- 障害者施策推進協議会
- 墨田区社会福祉事業団評議員
- 墨田区文化振興財団評議員

樋口敏郎  
〒三六一七四二二九



桜井浩之  
〒五六三二一七七五七



- 企画総務委員会委員
- 議会運営委員会委員
- 災害対策特別委員会委員
- 消防団運営委員会
- 青少年問題協議会

立花浩之  
〒五六三二一七七五七



- 区民文教委員会委員長
- 情報化対策特別委員会委員
- 消防団運営委員会
- 学童災害共済審査会

沖山仁  
〒三六一六一〇五〇



- 地域都市委員会委員
- 災害対策特別委員会委員
- 墨田区情報公開制度及び個人情報保護制度運営審議会
- 都市計画審議会
- 墨田まちづくり公社評議員

## 編集後記

いま、私たちは「墨田区基本計画」の策定に取り組んでいるところであります。この計画は、五年ごとに見直しをされるものですが、今回は、二十年目の「墨田区基本構想」を含む大きな見直しであります。

来年度予算編成に関することでもあり、次の世代に責任ある改革と、歴史・文化・伝統のより良き継続のため、わが会派十六名の総力を結集し、互いの経験や情報を分かち合い、協議を重ね、第四回定例会に向けて準備を進めています。

各種団体や区民の方々の、区に対するご要望、ご意見をどしどしお寄せいただいで、より充実した基本計画の策定並びに予算編成に望みたいと考えておりますので、皆様方の更なるご指導、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

(出羽邦夫記)